

主な規格

- 1) コンプレッサー / リミッター
最大入力レベル.....+6.5dBm at 400Hz
最大出力レベル.....0dBm at 400Hz
出力レベル・レンジ.....-40dBm to 0dBm(可変)
最大コンプレッション・レシオ.....40 dB
入力換算ノイズ.....-90 dBm (IHF-A 入力ショート)
アタック・タイム.....6msec. to 20msec. (可変)
周波数特性.....30Hz to 20KHz (+5 dB, -2dB)
- 2) ステレオ・コーラス
最大入力レベル.....+5.6 dBm at 400Hz
ディレイ・タイム.....3.2msec. to 8.6msec.
入力：出力レベル.....1 : 1
入力換算ノイズ.....-106 dBm (IHF-A 入力ショート)
スイープ・スピード.....0.3Hz to 3.0Hz (可変)
- 3) パラメトリック・イコライザー
最大入力レベル.....+13 dBm at 400Hz
最大出力レベル.....+13 dBm at 400Hz
入力換算ノイズ.....-92 dBm (IHF-A 入力ショート)
バンド・ウィデス.....7oct. to 1oct. (可変)
センター周波数.....25Hz to 10KHz (可変)
レベル・コントロール.....±15 dB
- 4) アナログ・ディレイ
最大入力レベル.....+11 dBm at 400Hz
入力：出力レベル.....1 : 1
入力換算ノイズ.....-98 dBm (IHF-A 入力ショート)
ディレイ・タイム.....10msec. to 300msec. (可変)
ディレイ周波数特性.....30Hz to 2KHz (+1 dB, -3dB)
- 5) オーバー・オール
入力インピーダンス.....500K Ω
メイン出力インピーダンス.....10K Ω 以下
ステレオ・コーラス出力インピーダンス.....10K Ω 以下
外部エフェクト・ループ・センド・インピーダンス10K Ω 以下
外部エフェクト・ループ・レシーブ・インピーダンス.....500K Ω
電 源.....AC100V, 50 / 60Hz, 6.8W
寸 法 ボデー.....482(W)×98(H)×232(D)mm
リモート・フットスイッチ.....340(W)×42(H)×70(D)mm
重 量 ボデー.....3.9kg
リモート・フットスイッチ.....1.2kg
アクセサリ.....リモート・フットスイッチ/接続コード5m付

※規格及び外観は改良の為予告なく変更することがあります

Maxon®
HIGH QUALITY DEVICES
株式会社 日伸音波製作所

Maxon®

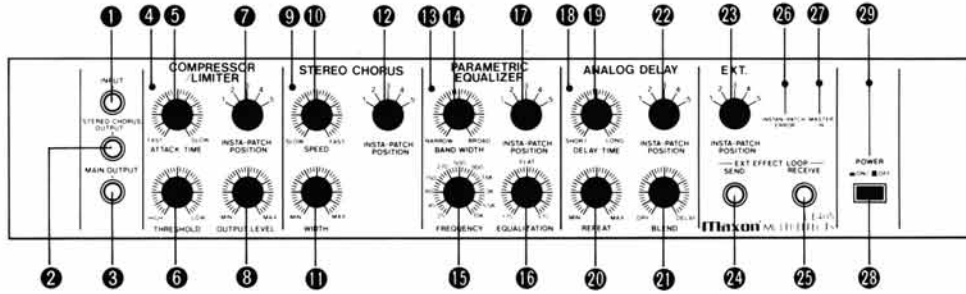
MULTI EFFECTS UE405

取扱説明書

特 長

- UE405は、4種類のハイ・クオリティ・ディバイス（コンプレッサー / リミッター、ステレオ・コーラス、パラメトリック・イコライザー、アナログ・ディレイ）を19インチ（EIA規格）ラックマウント・スタイルのボディーに組み込んだマルチ・エフェクトで、エレキ・ギター、ベース・ギター、キーボード、PAシステムなどに幅広く使用できます。
- UE405は、本体ユニットとフットスイッチ・ユニットとで構成され、フットスイッチで各エフェクター単独にイン / アウトの切換えが行なえる為、演奏の妨げになりません。又、“Q-1” FET電子スイッチを採用し、イン / アウト切換時のクリック・ノイズをシャットアウトしました。
- 各エフェクター及びマスターのイン / アウトLEDインジケータを本体とフットスイッチの両ユニットに装備している為、イン / アウトのチェックが確実に行なえます。
- イクスターナル（外部）エフェクト・ループの装備により、お手持ちのエフェクターを接続できます。又、イクスターナル・エフェクト・ループに接続したエフェクターもマスタースイッチで同時にイン / アウトできます。
- インスタパッチ・セレクターにより、瞬時にエフェクターの接続順番を選択できます。又、インスタパッチ・エラー・インジケータを装備し、インスタパッチングのミスを確認することができます。
- ステレオ・コーラス・アウトブット・ジャックを装備し、インパース・フェイズの本格的ステレオ・コーラス・エフェクトが得られます。
- 各ディバイスは、プロフェッショナル思考のローノイズ、ローディストーション設計で、長時間にわたり安定な動作が得られます。

各部の名称と使い方



1 INPUT (インプット)

入力ジャックです。エレキ・ギター、キーボードなどの楽器を接続します。ミキサーで使用する場合は、ミキサーのエフェクト・センド端子と接続します。

2 STEREO CHORUS OUTPUT (ステレオ・コーラス・アウトプット)

ステレオ・コーラス専用の出力ジャックです。2台のアンプを使用して、ステレオ・コーラス効果を得る場合、一方のアンプを接続します。もう一方のアンプは3のメイン・アウトプットに接続します。

3 MAIN OUTPUT (メイン・アウトプット)

メインの出力ジャックです。通常この出力にアンプを接続します。ミキサーで使用する場合は、ミキサーのエフェクト・レシーブ (又は、リターン) 端子と接続します。

4 ATTACK TIME (アタック・タイム)

コンプレッサー/リミッターの立ち上がり時間を調節するノブです。左(FAST)に回した状態が、アタック・タイムが最も速く、右に回すほど(SLOW)アタック・タイムは遅くなります。ギターで使用し、ピックアップのアタックを強調したい場合は、ノブを右(SLOW)側にセットします。

5 THRESHOLD (スレッズホールド)

コンプレッサー/リミッターのコンプレッション効果が開始するレベルを調節するノブです。左(FAST)に回した状態ではスレッズホールド・レベルは高く、右(SLOW)側に回すほどスレッズホールド・レベルは低くなります。コンプレッサーとして使用する場合は、スレッズホールド・レベルは低く(LOW)側にセットした方が、サスティーンも伸び効果的です。又、リミッターとして使用する場合は、スレッズホールド・レベルは高くセットするのが一般的です。

7 INSTA-PATCH POSITION (インスタパッチ・ポジション)

UE 405に組み込まれた4種類のエフェクター及び、イクスターナル・エフェクト・ループに接続したエフェクターの接続順番を任意に選択するノブが、インスタパッチ・ポジション・セレクターです。この7のノブは、コンプレッサー/リミッターの接続順番を選択します。たとえば各インスタパッチ・ポジション・ノブをコンプレッサー/リミッター・1)ステレオ・コーラス・2)パラメトリック・イコライザー・3)アナログ・ディレイ・4)イクスターナル・エフェクター・5)にセットし、すべてエフェクト・インにした場合、

インプットされた信号は、コンプレッサー/リミッター → ステレオ・コーラス → パラメトリック・イコライザー → アナログ・ディレイ → イクスターナル・エフェクターの順に通過し、メイン・アウトプットより出力されます。接続順番により効果が大きく変わりますので、未記効果的な接続順番を参考して下さい。

10 OUTPUT LEVEL (アウトプット・レベル)

コンプレッサー/リミッターの出力音量を調節するノブです。左(MIN)側いっぱい回した状態が出力レベルが最も小さく、右(MAX)側に回すほど出力レベルが大きくなります。アウトプット・レベルは、ノーマルの音量と同じ位にセットするのが一般的です。

10 SPEED (スピード)

ステレオ・コーラスの効果の速さを調節するノブです。左(SLOW)側いっぱい回した状態で10秒間に約3回右に回すに従って速くなり右(FAST)側いっぱい回した状態で1秒間に約3回のスピードとなります。

11 WIDTH (ウィアウス)

ステレオ・コーラスの効果の幅を調節するノブです。左(MIN)側いっぱい回した状態では、ほとんど効果がなく、右(MAX)側に回すに従ってスイープ幅が広がり効果が深くなります。

12 INSTA-PATCH POSITION (インスタパッチ・ポジション)

ステレオ・コーラスの接続順番を選択します。

13 BAND WIDTH (バンド・ウィアウス)

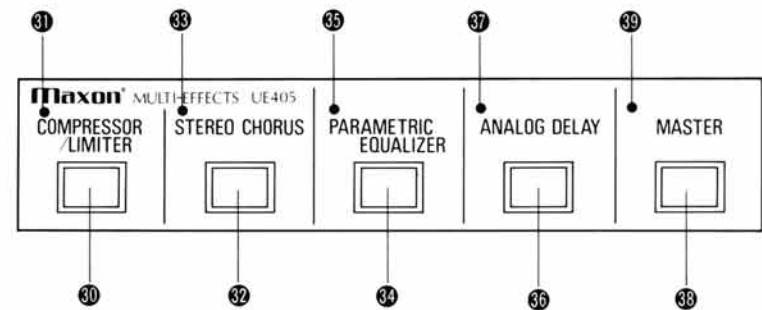
パラメトリック・イコライザーのスリー・パラメーターのひとつである、イコライジング帯域幅を調節するノブです。左(NARROW)側いっぱい回した状態では山や谷の幅が最も狭く、特定の周波数帯に対するブーストやカットが可能です。又、右(BROAD)側に回すに従って山や谷の幅が広くなり、広い周波数帯にわたるゆるやかなブーストやカットが可能になります。ハウリングの防止やハムの除去には、なるべくナロー側にセットするのが効果的です。

14 FREQUENCY (フリクエンシー)

パラメトリック・イコライザーのスリー・パラメーターのひとつである、イコライジングのセンター周波数を調節するノブです。左(LOW)側に回した状態で約25 Hz、右に回すに従ってセンター周波数が高くなり右(FAST)側いっぱい回した状態で約10 kHzとなります。

15 EQUALIZATION (イコライゼーション)

パラメトリック・イコライザーのスリー・パラメーターのひとつである、イコライジングのブースト/カット



を調節するノブです。センターでフラット、右(+15)側に回してブースト、左(-15)側に回してカットになり、イコライジング・センター周波数で最大±12 dBの調節が可能です。

17 INSTA-PATCH POSITION (インスタパッチ・ポジション)

パラメトリック・イコライザーの接続順番を選択します。

18 DELAY TIME (ディレイ・タイム)

アナログ・ディレイのディレイ音の遅れ時間を調節するノブです。右(LONG)側いっぱい回した状態で約300 msec、左に回すに従ってディレイ・タイムは短くなり左(SHORT)側いっぱい回した状態で約10 msecのディレイ・タイムが得られます。

20 REPEAT (リピート)

アナログ・ディレイのディレイ音の繰り返し回数を調節するノブです。左(MIN)側いっぱいではディレイ音は1回、右に回すほど繰り返し回数が増加し右(MAX)側いっぱい付近では、連続して繰り返します。このノブを上げ過ぎると、ディレイ・タイム19の調節により発振を起す場合がありますので注意して下さい。

21 BLEND (ブレンド)

アナログ・ディレイのドライ音(原音)とディレイ音の音量のミキシング・バランスを調節するノブです。左(DRY)側いっぱい回した状態ではドライ音のみ、右(DELAY)側いっぱい回した状態ではディレイ音のみが出力されます。センターでドライ音と、ディレイ音がほぼ同じ音量になります。

22 INSTA-PATCH POSITION (インスタパッチ・ポジション)

アナログ・ディレイの接続順番を選択するノブです。

23 EXT. INSTA-PATCH POSITION (イクスターナル・インスタパッチ・ポジション)

EXT. EFFECT LOOP (イクスターナル・エフェクト・ループ) 24-25間に接続した外部エフェクターの接続順番を選択するノブです。

24 EXT. EFFECT LOOP/SEND (イクスターナル・エフェクト・ループ/センド)

外部に接続するエフェクターへの出力ジャックです。外部エフェクターの入力ジャックと接続します。

25 EXT. EFFECT LOOP/RECEIVE (イクスターナル・エフェクト・ループ/レシーブ)

外部に接続するエフェクターからの入力ジャックです。外部エフェクターの出力ジャックと接続します。

29 INSTA-PATCH ERROR (インスタパッチエラー)

各インスタパッチ・ポジション(7, 12, 17, 22, 23)の選択が間違っている場合点滅するインジケータです。7, 12, 17, 22, 23の各ポジション・ノブは、重複しないよう1~5の異なるポジションにセットして下さい。

29 MASTER IN (マスター・イン)

フットスイッチ・ユニットのマスター・スイッチ29がインになった時点灯するインジケータです。

29 POWER ON/OFF (パワー)

電源スイッチです。オン/オフは、ノブを押して行ないます。オンの時29のパワー・インジケータが点灯します。

31 COMPRESSOR/LIMITER (コンプレッサー/リミッター)

コンプレッサー/リミッターのエフェクト・イン/アウト切換スイッチです。インになった場合31と本体ユニット1のインジケータが同時に点灯します。

33 STEREO CHORUS (ステレオ・コーラス)

ステレオ・コーラスのエフェクト・イン/アウト切換スイッチです。インになった場合33と本体ユニット1のインジケータが同時に点灯します。

35 PARAMETRIC EQUALIZER (パラメトリック・スコーライザー)

パラメトリック・イコライザーのエフェクト・イン/アウト切換スイッチです。インになった場合35と本体ユニット1のインジケータが同時に点灯します。

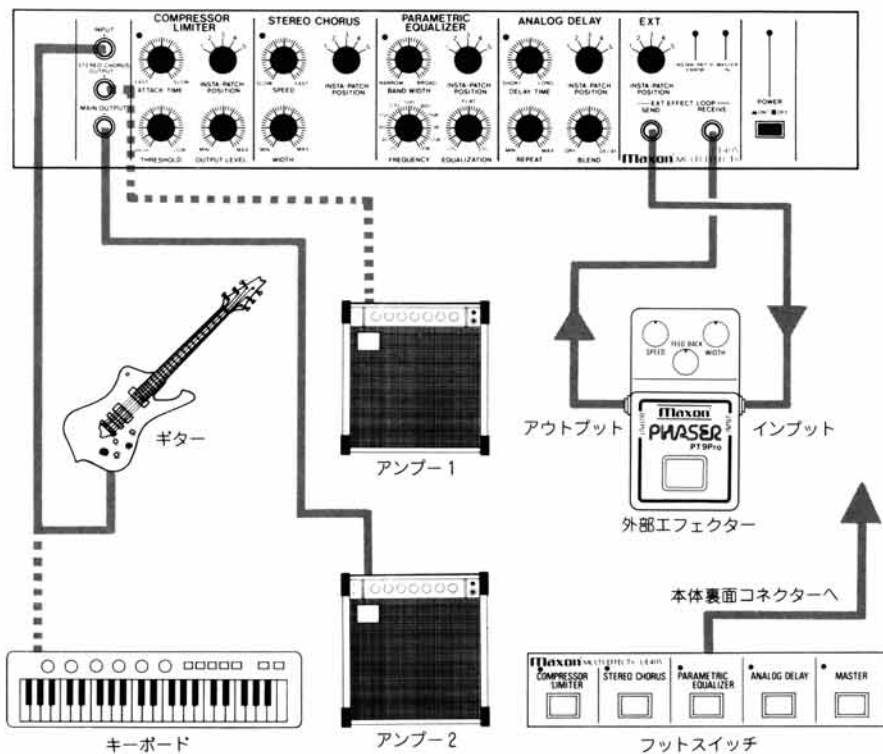
37 ANALOG DELAY (アナログ・ディレイ)

アナログ・ディレイのエフェクト・イン/アウト切換スイッチです。インの場合37と本体ユニット1のインジケータが同時に点灯します。

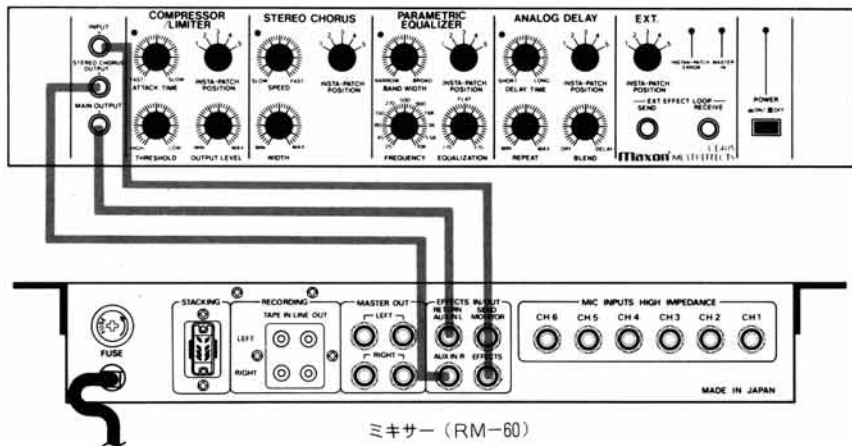
39 MASTER (マスター)

マスターのエフェクト・イン/アウト切換スイッチです。インの場合39と本体ユニット1のインジケータが同時に点灯します。31, 33, 35, 37及び、外部エフェクターのイン/アウト・スイッチ単独では、エフェクトになりません。すべてこのマスター・スイッチにより支配されていますので31, 33, 35, 37及び、外部エフェクターのイン/アウト・スイッチの内エフェクトにしたいエフェクターだけをあらかじめインにし、効果を得たい時マスタースイッチをインにしてください。

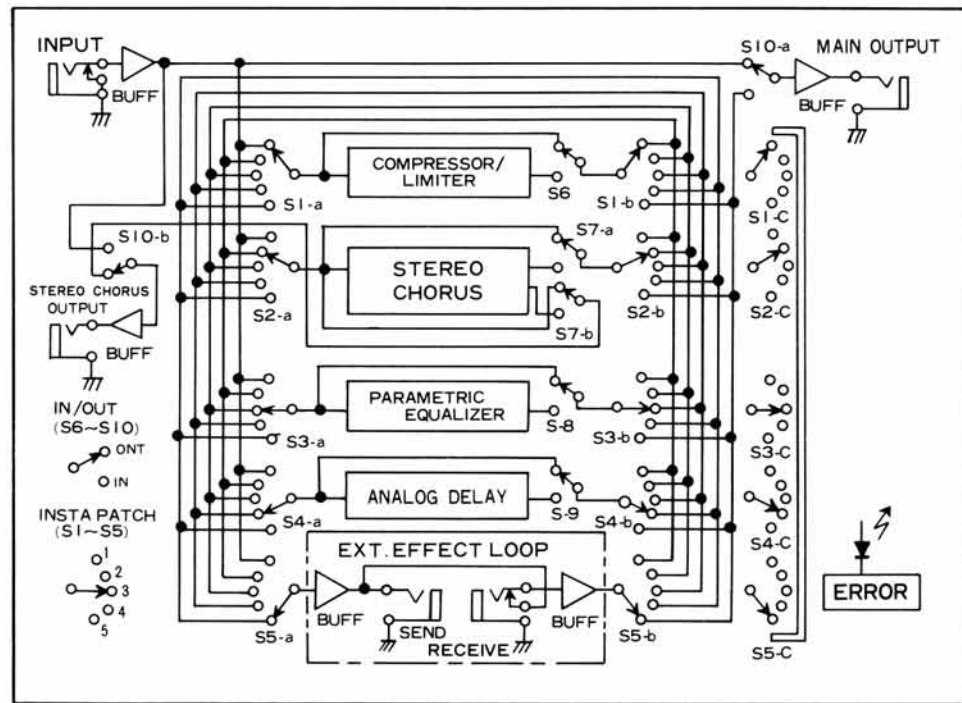
接続方法



●ミキサーに接続する場合



ブロックダイアグラム



ご使用上の注意

- このセットはAC100V専用です。もしAC100V以外の電源電圧でご使用になれる場合は電圧調整器でAC100Vに合わせてください。又、海外でご使用になれる場合は、当社サービス機関にご相談ください。
- 暖房器具などの近くやアンプの上などの温度が上がる場所及び、直射日光の当たる場所でのご使用はトラブルの原因になりますので避けてください。
- 湿気が多い場所でのご使用や、コーラなどの水の入ったものをセットの上に置くことは避けてください。
- 化学洗剤やシンナー類の使用は避けてください。
- アンプのボリュームを大きくしたままで、電源スイッチをオン/オフしたり電源プラグを抜き差しすると、スピーカーに大きな負担が掛かり破損する恐れがあります。必ずボリュームを0にしてから行ってください。
- セットを移動する場合には、電源プラグや接続コード類を必ず引き抜いてから行ってください。